



夏休みの思い出に  
小学生が農業体験

8月27日、「夏休み農業体験ツアー」が開催されました。これは、市内の小学6年生が農家等を訪問して、食や農に関する興味や関心を高め、農業の大変さやありがたさを学んでもらおうと毎年実施しているもの。参加した16人は、ゴボウの収穫やダチョウの飼育を見学したほか、搾乳やさつまいも掘りに挑戦するなど農業体験を楽しみました。



大隅縦貫道の  
整備促進に向けて

8月24日、錦江町で、「大隅縦貫道整備促進決起大会」が開催されました。これは、鹿屋市・東串良町・錦江町・南大隅町・肝付町の1市4町で構成する期成会が主催したもの。住民など約600人が出席し、ガンパロウ三唱で氣勢を上げたほか、地元高校生による概要説明や地域住民の意見発表が行われました。



地域で支え合う  
ボランティアの輪

8月20日・21日、市中央公民館で、「運転ボランティア養成講座」が開催されました。講座では、高齢者等の外出を支援するための心構えや接遇の講義のほか、自家用車等での実技指導を実施。運転ボランティアに興味を持つ23人が参加し、参加者からは「運転することの心構えや相手への心配りを改めて気づかされた」等の声があがっていました。



7千人が  
おいしいお肉に舌鼓

8月31日、リナシティかのやと周辺で、「第2回リナシティまるごと食フェス～お肉だヨ！全員集合～」が開催されました。イベントでは、市内の飲食店23店舗が牛・豚・鶏肉などを使った自慢の肉料理を販売。また、肉にちなんだオリジナルのキャラクターショーやガラポン抽選会も催され、子どもから大人まで、約7,000人の来場者でにぎわいました。



130mのながらい  
ソーメン流し

8月18日、吾平小学校で、「第3回吾平小学校校門坂ソーメン流し大会」が開催されました。これは美里吾平コミュニティ協議会おやじの会が企画したイベント。会場に集まった家族連れら約400人は、長さ130m・高低差25mの校門坂を流れるそうめんに歓声を上げながら、懸命に箸ですくい上げ、おいしそうに食べていました。



パラ陸上で  
全国の舞台へ

8月27日、池田悠華選手（鹿屋養護学校高等部3年）とご家族が市役所を訪れました。これは、「第13回鹿児島県障害者スポーツ大会」陸上競技100m走少年の部において、大会新記録で優勝し、10月に茨城県で開催される全国障害者スポーツ大会への出場が決定したことに伴い行われたもの。全国の舞台で自己ベストである13秒台の走りを目指します。



スポーツ振興のため  
寄附金を贈呈

8月27日、市役所で相生設計株式会社（兵庫県）から市への寄附金贈呈式が行われました。これは、市出身で同社取締役の山根マキ子さん（旧姓：郷原）が、鹿屋市のスポーツ振興に役立ててほしいとの想いから500万円を寄附されたもの。山根さんからは、郷土の振興のためにと、一昨年市へ1,000万円の寄附をいただきました。



マウンテンバイクで  
霧島ヶ丘公園を激走

8月11日・12日に、霧島ヶ丘公園マウンテンバイクパークで、「かのやマウンテンバイカーズFES.2019」が初開催されました。同公園の地形や起伏を取り込んだ特設コースの耐久レースなどに、県内外から集まった延べ54人が挑戦。当日は天候にも恵まれ、己の限界に挑む選手たちの姿に、マウンテンバイクファンから熱い声援が送られました。



優雅なフラダンスが  
来場者を魅了

8月11日、市成小学校跡で、「輝★HOKU楽楽フェス」が開催され、県内30チームがフラダンスを披露しました。また地元の食材を使った料理などの出店があり、会場は大いに盛り上がりしました。



始良川に親しむ一日

8月25日、始良川月見橋上流の河川敷で、「あいら川まつりinサマー 2019」が開催されました。あゆのつかみ取り、降雨体験機やバザーなどが実施され、多くの参加者でにぎわいました。



世界のスポーツ研究者が  
鹿屋市に集結

8月28日、第10回鹿屋体育大学国際スポーツアカデミーのセミナー受講生・関係者らが市役所を訪れました。受講生は、同大学での最先端セミナーのほか、鹿屋の食・文化を体験しました。



4冠達成！  
国体へ弾みをつける

8月26日、鹿屋工業高校ボクシング部の選手・関係者らが市役所を訪れました。これは、南部九州高校総体と茨城国体九州ブロック大会において、個人、団体ともに優秀な成績を収め、国体出場を決めたことに伴い行われたもの。なかでも、荒竹一真さん（2年）は高校総体2連覇で4冠を達成し、目標の8冠にまた一歩近づきました。



吾平山上陵を  
日本遺産に

8月17日、湯遊ランドあいらで、吾平山上陵の日本遺産認定に向けたイベント「吾平山上陵物語」が開催されました。桂竹千代さんの「天孫降臨」と題した落語や、高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」の創作ダンス、シンガーソングライターYulyさんの日本神話をテーマにした歌が披露され、日本遺産認定に向けた地域の機運が盛り上がりしました。